

# 令和4年度 嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業総括表

【美術館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	R 4 年 度 総 括					
					Plan	Do		Check		
					実施目標	実施時期	具体的内容	成果	課題	自己評価
1	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	① 文化芸術活動推進事業	文化芸術活動推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市文化協会などの関係団体と連携し、市民の主体的、自主的な展示活動やアトリエでの創作活動を支援する。</li> <li>○学校などと連携して、児童生徒などの芸術作品鑑賞や創作活動の支援、出前授業を行い、子どもたちの豊かな感性を育む。</li> <li>○地域などで子どもの創作活動を支援し、子どもたちの豊かな感性を育む。</li> </ul>	4月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○美術館を利活用する関係団体の学習・展示活動の支援。</li> <li>○小学校などと連携した作品鑑賞学習などの支援。</li> <li>○織田廣喜自身や作品、収蔵作品を紹介し活用した学習の実施。</li> <li>○博物館実習の受入れ。</li> <li>○地域の子どもたちの創作体験支援。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市文化協会などの関係団体の自主的な展示活動やアトリエでの創作活動が行われた。</li> <li>○市文化協会主催の嘉麻総合文化祭、琴平美術展覧会、嘉麻書初め大会作品展示などを共催事業として実施した。</li> <li>○中学校文化連盟美術・文化作品展、福岡県小学校児童画展嘉麻市展が開催され、児童生徒が鑑賞に多く来館した。</li> <li>○美術館企画展「ノンタン絵本の世界展」や常設展示の作品鑑賞学習に市内小学生が事業の一環として来館し、スタッフがギャラリートークを行った。</li> <li>○博物館実習に福岡大学4年生1人を受入れた。</li> <li>○専門家を講師に迎えたり、市立図書館や関係機関とも連携したりして、ワークショップや講座を開催。創作体験の機会を提供した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民に美術館の役割が認識されていない。</li> <li>○幅広い年代の市民の方に、美術に関する創造的活動の場や機会の提供及び周知が必要。</li> <li>○新しいジャンルのアート展を開催し若年層の興味、創造意欲を育む機会が必要。</li> <li>○まちに美術館があるという価値観を高める。</li> <li>○大学等と連携した芸術文化活動推進。</li> <li>○他施設、自治体他部署との連携のための提案が必要。</li> <li>○観光資源としての発信。</li> <li>○児童・生徒の芸術鑑賞や創作活動の機会を提供する。</li> <li>○活動メニューを作成する。</li> <li>○生涯学習の場としての利用者が減少。</li> </ul>	A
2	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	② 美術館運営管理事業	美術館運営管理事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○快適な環境の中で安心して、芸術作品鑑賞や創作、展示などの文化芸術活動が行え、また、憩いの場となるように施設の維持管理と運営を行う。</li> <li>○広く美術館や事業などの周知に務める。</li> </ul>	4月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○美術館の維持管理及び運営。</li> <li>○幅広い美術館の周知と情報提供。</li> <li>○安心して利活用できるよう新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じる。</li> <li>○筑豊美術館ネットワークでの情報交換や連携。</li> <li>○関係機関などとの連携。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適切な維持管理により快適な環境の中で安心して施設の利活用、芸術作品鑑賞を行うことができた。</li> <li>○市広報、ホームページ以外にSNSを活用した情報発信やフリーペーパーの活用、広報ツールの見直しを行い、幅広くイベントの告知、美術館の周知・広報活動を行った。</li> <li>○相互に情報交換や連携するために、嘉麻市観光まちづくり協会に入会した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○貸館の利用は、少なくともなかったが、利用に問題がある団体も多く、改めて公共施設としての利用ルール整備が必要。</li> <li>○施設利用団体への利用案内の不足。</li> <li>○光熱費高騰のため効率的な運用対応。</li> <li>○資料閲覧室の空調不備のため夏季使用制限あり。</li> <li>○施設の利用推進だけではなく織田廣喜や地域ゆかりの作家の偉業を継承する広報も積極的に行う。</li> <li>○市民に親しまれ、身近に感じ行きたくなる情報提供</li> <li>○利用者アンケートの実施方法の見直し。</li> </ul>	A
3	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	② 美術館運営管理事業	碓井琴平公園管理事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○隣接する芝生広場が人々の憩いの場として快適かつ安心して利活用できるよう環境美化と維持管理を行う。</li> </ul>	4月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○美術館など施設敷地内及び隣接する公園内の維持管理(環境整備)。</li> <li>○公園内トイレの維持管理。</li> <li>○公園の周知と活用を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適切な維持管理により平日、休日を問わず市民の散歩やレクリエーション、近隣児童生徒の遊び場となっている。</li> <li>○市内外からの遠足地として定着してきており、プレーパークでも活用されている。</li> <li>○定期的に高低木の剪定を行い、オカメ笹の適切な管理により、安全で過ごしやすい環境づくりを行った。</li> <li>○公園内のゴミ放置などに注意喚起を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○琴平公園植込み、周辺緑地の維持管理計画。</li> <li>○琴平公園内ゴミ箱への家庭ごみ放置発生。</li> <li>○琴平公園内トイレ窓ガラス破損被害、台風による倒竹など発生。</li> </ul>	A
4	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	② 美術館運営管理事業	収蔵作品等の保存及び管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関係資料の収集及び収蔵作品などの適切な保存管理と幅広い活用を図る。</li> </ul>	4月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○展示・収蔵作品の維持管理。</li> <li>○温湿度記録機器(毛髪式自記温湿度計)の修理。</li> <li>○収蔵庫の定期清掃及び燻蒸。</li> <li>○データロガーによる温湿度計測データ蓄積。</li> <li>○虫菌害の防止体制強化。</li> <li>○データ管理システム「IBミュージアムSaaS」を活用し、作品情報の一括管理及びインターネットでの公開。</li> <li>○常設展示作品の入替と春のコレクション展を開催し、収蔵作品の活用を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保守点検を定期的実施し、迅速かつ適切に温湿度の調整を行い、作品を快適な環境の中で継続して維持管理でき、活用を図ることができた。</li> <li>○収蔵庫1の燻蒸を実施し、虫菌害の予防ができた。</li> <li>○常設展示作品の入替と春のコレクション展を開催し、収蔵作品を活用し、さらに織田廣喜の魅力を伝え、リピーターの集客を図ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適切な資料の保管。</li> <li>○資料補修や保存の計画。</li> <li>○デジタル資料も含めた資料の活用計画。</li> </ul>	A

番号	アクションプラン主要瀬策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	R 4 年 度 総 括					
					Plan	Do		Check		
					実施目標	実施時期	具体的内容	成果	課題	自己評価
5	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	③ 企画展事業	絵本原画展	○幅広く優れた芸術作品鑑賞の機会を提供することにより、芸術への興味と関心を深め、心豊かな感性を磨く機会を提供する。 ○特別企画展を観光資源として、集客を図る。	7月23日 ～ 9月19日  /49日間 ※9月16日・19日台風接近により臨時休館	○刊行45周年 ノンタン絵本の世界展 ○展示内容 ・「ノンタン」シリーズ原画134点 ・「ノンタン」シリーズラフ、スケッチ28点 ・画材類38点 ・その他(キノノサチコ氏私物、フィギュア等)13点  ○関連事業 ・ワークショップ ノンタン帽子をつくろう ・ノンタンおはなし会 ・写真撮影会 ・ノンタンスタンプラリー  ○関連グッズ販売	○「刊行45周年 ノンタン絵本の世界展」入館者数4402人 ○関連事業 ・ワークショップ:ノンタン帽子をつくろう! 7月31日(日) 30人 8月21日(日) 31人 ・ノンタン展おはなし会 読み手:市立図書館 7月31日(日) 40人 8月21日(日) 41人 ・写真撮影会 「ノンタンといっしょに写真を撮ろう♪」16組  ○9月までの開催により、2学期に学校活動で見学学習に来館があった。 ○幅広い年代に興味と関心を深め、子どもが美術館に初めて観覧に訪れるなど、美術館を身近に感じる機会になった。家族連れやリピーターも多く来館された。 ○関連グッズを多くの方が買い求められ、展覧会を楽しんでもらうことができた。 ○九州、山口まで来館があり、広く集客を図ることができた ○準備から会期中も市立図書館と連携して開催した。前売券を市立図書館、直方谷尾美術館、書店(飯塚市)でも販売した。	○特別企画展を観光資源として、集客を図るという点で、広域な周知活動の不足。 ○キャッシュレス決済の整備遅れ。	A
6	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	③ 企画展事業	第77回県美術展覧会筑豊巡回展	○幅広く優れた芸術作品鑑賞の機会を提供することにより、芸術への興味と関心を深め、心豊かな感性を磨く機会を提供する。 ○関連事業を実施し集客を図る。	【第1期】 10月18日 ～ 10月23日 【第2期】 10月25日 ～ 10月30日 【第3期】 11月1日 ～ 11月6日  /18日間	○福岡県美術展覧会の日本画、洋画、デザイン、写真、書の5部門の中から、公募の部の入賞、入選作品及び筑豊地区の県美術協会会員の作品を3期に分けて展示する。 ○事前に筑豊巡回展実行委員会(各部門より)を開催し、会場の打合せを行う。作品展示は実行委員の指導のもとに業者が行う。 ○各会期の最終日に県美術協会会員による合評会を行う。	○第77回福岡県美術展覧会筑豊巡回展 1期 232人 2期 223人 3期 318人 計 773人 ○出品点数 日本画 13点 / 洋画 56点 写真 50点 / デザイン 16点 書 116点 ○関連イベント 合評会 第1期:洋画部門 10月23日(日) 14:00～15:00 第2期:デザイン、日本画、写真部門 10月30日(日) 13:00～16:00 第3期:書部門 11月6日(日) 14:00～15:00  ○県美術協会会員による合評会開催、自由参加のため約20～30人程度が参加。	○作品出品者、新規来館者の開拓。 ○他部門の展示がある県展、巡回展に興味関心を持ち、感性を磨く機会を提供。 ○搬入搬出・展示替えを効率的に行う。	A
7	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	③ 企画展事業	春のコレクション展2022	○幅広く優れた芸術作品鑑賞の機会を提供することにより、芸術への興味と関心を深め、心豊かな感性を磨く機会を提供する。 ○織田廣喜を中心に地域縁の作家などの収蔵作品を常設展示とは別にコレクション展として展示公開し、当館の誇る名品の魅力を紹介し、郷土の作家への興味と関心を深める機会を提供する。	4月1日 ～ 4月10日  /9日間	○収蔵作品を活用しテーマに沿ったコレクション展を開催し、新たな作品鑑賞の機会を提供する。 ○ホームページやSNSなどを活用し、幅広いPRを行う。	春のコレクション展2022 「身近のすてきな風景展」 ○展示作品83点 ・織田廣喜の生まれ育った故郷の風景 13点 ・織田廣喜(油彩)9点(パステル)1点、山口利明(写真)3点 ・旅の途中で出会った風景(嘉麻市近隣)38点 ・築山節生(鉛筆)8点(水彩)19点、江藤正雄(木版)11点 ・嘉麻市内の風景32点 ・四宮佑次(写真)32点 ・入館者数 52人	切り口を変えた収蔵作品の展示。	A
				春のコレクション展2023	○幅広く優れた芸術作品鑑賞の機会を提供することにより、芸術への興味と関心を深め、心豊かな感性を磨く機会を提供する。 ○織田廣喜を中心に地域縁の作家などの収蔵作品を常設展示とは別にコレクション展として展示公開し、当館の誇る名品の魅力を紹介し、郷土の作家への興味と関心を深める機会を提供する。	3月4日 ～ 3月31日  /24日間	○収蔵作品を活用しテーマに沿ったコレクション展を開催し、新たな作品鑑賞の機会を提供する。 ○ホームページやSNSなどを活用し、幅広いPRを行う。	春のコレクション展2023 「300号の絵ってどのくらいの大きさなの」 ○展示作品18点	実施中	—
8	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	③ 企画展事業	常設作品展	○幅広く優れた芸術作品鑑賞の機会を提供することにより、芸術への興味と関心を深め、心豊かな感性を磨く機会を提供する。 ○織田廣喜の収蔵作品の入替を行い、当館の誇る名品の魅力を紹介し、郷土の作家への興味と関心を深める機会を提供する。	年 2 回	○常設展示作品の入替を行い、収蔵作品の公開を促進する。 ○展示作品解説の充実を図り、作品を通して織田廣喜の人柄・魅力を深く感じられるような展示とする。 ○ホームページやSNSなどを活用し、幅広いPRを行う。	○今年度は実施せず	○企画展示も収入としては必要だが、収蔵作品の公開を定期的に行い、織田廣喜の魅力を伝える常設展示に力を入れる。 ○常設展示のギャラリー(スライド)トークを定例で実施。	—

番号	アクションプラン主要瀬策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	R 4 年 度 総 括					
					Plan	Do		Check		
					実施目標	実施時期	具体的内容	成果	課題	自己評価
9	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	アートキッズ	○様々な創作体験や芸術に関する知識を習得できる講座を実施し、創作活動の楽しさを実感でき、学びを深める機会を提供する。 ○作品鑑賞や創作活動を通じて、子どもたちの豊かな感性と創造力などを育む機会を提供する。	年9回 6月～3月	○講座は館内スタッフ8回 近畿大学連携2回 ○対象者:小学生20名程度 開 催:日曜日(※近大は土日の連日) ○回数 9回(予定10回のうち1回は悪天候のため中止) ※2回は近畿大学産業理工学部との連携事業 ○アートキッズ作品展。 (1月11日～1月22日 11日間)	○小学生を対象とし、表現力や豊かな感性を育むことを目的としています。今年も、大人気企画の近畿大学とのコラボを開催。 ○「こども二科展」への出品や、館内バックヤードツアーなど実施。 ○日程 全10回 日曜日開催(⑥のみ土曜開催) 10時～12時 定員 15人 ① 6月19日 イントロダクション・名刺づくり ② 6月26日 作品鑑賞 ③ 7月10日 不思議な模様の絵を描こう ④ 8月 7日 絵画① ⑤ 8月14日 絵画② ⑥11月12日 近畿大学とのコラボ① ⑦11月13日 近畿大学とのコラボ② ⑧12月11日 カプセルアートをつくろう ⑨12月18日 * 悪天候のため中止 ⑩ 3月 5日 館内バックヤードツアー  ○子ども二科展に出品(11人13点)し、1点入選。 ○アートキッズ展を開催。	○単に創作活動だけでなく、創作、鑑賞から自己表現につながる学びを深めるプログラムが必要。	A
10	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	なつやすみ オダビ アートラボ	○様々な創作体験や芸術に関する知識を習得しながら、創作活動の楽しさを実感できる機会を提供する。 ○作品制作を通じて、子どもたちの豊かな感性と創造力などを育む機会を提供する。	3月	○美術館に各自、夏休みの絵画系の課題(宿題)をもちより、市内の様々な児童と交流しながら館内スタッフの助言を受け作品制作を行い、創作することの楽しさを体感する。 ○自由研究として野菜を使用した絵具づくりを予定。 ○対象者:小学生15名程度。	3月実施に変更(未実施)	○夏休み実施は、特別企画展対応のため実施できず、春休み実施に変更。	—
11	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	親子ワークショップ	○親子でふれあいながら、創作の楽しさ、興味と関心を抱く機会を提供する。 ○作品制作を通じて子どもたちの豊かな感性を育む機会を提供する。	年4回 (各季節に1回予定)	○親子などで協力して作品を制作する。 ○対象者:未就学児10組程度。 ○生涯学習課社会教育係の家庭教育支援事業と共催。	○教育委員会共催事業として実施のびのびプレーパーク12月 「よごれないアート フィンガーペイントであそぼう」。 12月16日(金) ①19:40～10:30 ②11:00～11:50 大人 3人 子ども4人	○家族で鑑賞、創作を体験し美術を楽しむ環境の不足	A
12	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	大人の美術講座 「大人の学美塾」 座学編	○専門家の指導のもと、様々な創作体験や芸術に関する知識を習得できる講座を実施し、創作活動の楽しさを実感でき、学びを深める機会を提供する。	実施せず	○近年人気が高まっている「万年筆」や「ガラスペン」「インク」についての座学を予定。 ○対象者:18以上12名程度。	○今年度は実施せず。	○市内在住のアーティストを講師にした講座を開催し、創作活動を支援、応援し、交流する場を提供する。	—
				大人の美術講座 「大人の学美塾」 実技編	○カリグラフィー講座(講師:初島さつき) ○初心者、経験者にも新鮮な気持ちで楽しめる内容。 ○対象者:18歳以上12名程度。 。	2回 5月22日 5月29日	○R3年度実施分を開催 講師は、デザイナーや大学講師としても活躍されている初島さつき(スタヂオポント主宰)氏。 ①5月22日(日) 6人 ②5月29日(日) 8人  ○カリグラフィーの歴史を学び、カリグラフィー用のペンをアルミ缶、割りばしを使って制作。講師のアドバイスのもと、A2サイズほどの練習用紙に、線やカリグラフィーで文字を書いた。また、その練習用紙を使い、封筒も制作した。 ○参加者は、わざわざ専門的な道具を買いそろえなくても、身近にあるもので手軽にカリグラフィーに触れることができた。また、参加者の中には、1回目の講座の後、自宅で家族にペンの作り方を教え、家族でカリグラフィーを楽しんだという方もみられた。	○専門家指導の下、満足度が高い大人の講座は、創作活動の楽しさを実感し、学びを深める機会として、継続的に実施。	A	
13	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	美術館ボランティア事業	○活動とおして喜びを感じ、充実した時間を過ごすことができるよう、美術館とボランティア相互の連携を図る。	4月～3月	○美術館の活動に関わり、美術館や織田廣喜などの芸術と人をつなげるサポーターの養成を図る。	○ボランティアの育成、活動支援を美術館・図書館合同で行うよう準備中。 ○年度内に説明会開催予定。	○行政主導ではなく、市民主導で文化を育てるためのボランティア活動の場を創出。	B